



水稻 殺虫・殺菌剤/育苗箱・移植時側条施用剤

ブーンレパード®

いもち病

紋枯病

初期害虫

チョウ目

箱粒剤

高密度は種対応

は種前から

移植時側条施用

WCS*使用可

稲の病害抵抗性がアップ!

病害虫から 守る!

- ・は種前～移植当日まで箱施用可能。
- ・高密度は種対応、WCS*使用可。
- ・長い残効性。



いもち病



紋枯病



イネドロオイムシ



ニカメイチュウ



ブーン®、レパード®、はクミアイ化学工業(株)の登録商標

※WCS:稲発酵粗飼料

ブーンレパード®

箱粒剤

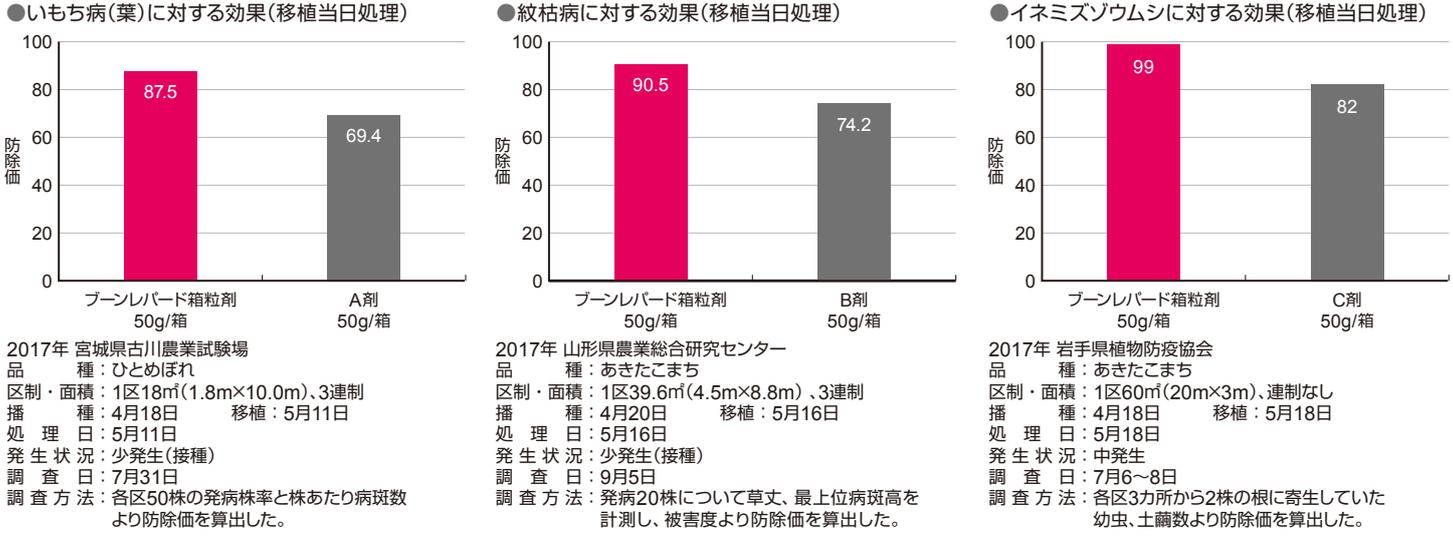
有効成分	テトラニプロロール…………… 1.5%
	ジクロベンチアゾクス…………… 2.0%
	ペンフルフェン…………… 2.0%
人畜毒性	普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

- 特長**
 - いもち病に優れた効果と長い残効性
 - 紋枯病、初期害虫、チョウ目害虫に優れた効果
 - 稲に安全性が高く、は種前～移植当日まで使用可能

適用病害虫と使用方法 2026年1月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラニプロロールを含む農薬の総使用回数	ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数	ペンフルフェンを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	いもち病、紋枯病、イネミズウムシ、イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	1回
	いもち病、紋枯病、ツマグロヨコバイ、イネミズウムシ、イネドロオイムシ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、イネツトムシ	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50~100g)	は種時(覆土前)~移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。			
	疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 白葉枯病、内穎褐変病、穂枯れ(ごま葉枯病菌)、もみ枯細菌病、イナゴ類	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g 高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50~100g)	移植当日					
稲	いもち病、紋枯病 イネミズウムシ、イネドロオイムシ	1kg/10a	移植時		側条施用			

新農薬実用化試験成績



【使用上の注意事項】

- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 苗を田植機にのせる際、育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は薬剤が落下するおそれがあるため、散布後に葉に付着した薬剤を払い落とし後軽く灌水してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 側条施用をする場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいねいに行い、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないよう処理を行ってください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。